

研修報告書No. 7

所 属：聖マリアンナ医科大学病院研修医

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

今回、高北病院と大崎診療所にお世話になり、1ヶ月の研修を終了させて頂きました。高知県の地域医療の現状としては、非常に早いスピードで高齢化社会を迎えていることが印象的でした。90歳を超える高齢者の方々がたくさん暮らしていました。また、そういった高齢者の方でも何とか生活ができるADLと環境が保たれていることに驚きました。高齢の方でも畑仕事など現役で働いている方もいらっしやって、歩行能力が保たれている高齢者の方が多いと感じました。また地域の近所付き合いなども深く、往診に伺った際もご近所の方が独居の高齢者を支えている光景を目にし、そういった地域での助け合いのすばらしさを感じました。また、地域でみんなで体操運動を定期的に行うなど、高齢者の集まる場や健康促進の場を提供しており、それらの活動もこれからの高齢化社会においてADLを保つためにとっても大事なことだと感じました。

大学病院の研修では病棟業務が多く、他職種がどのような仕事をしているのか、病院の外ではどのようなサービスが実際になされているかは知る機会がありませんでした。今回地域の研修をさせて頂き、病棟業務だけではなく色々な職種と関わることができました。病院外も含めて地域全体で患者さんを支えていく体制を各職種の方々に同行させて頂き実際に体験することができました。往診やソーシャルワーカーさんと訪問を行ったり、訪問看護に伺ったり、デイサービスやデイケアに参加させて頂いたりと普段できない体験ができたのが非常に勉強になりました。一人の患者さんを退院後も自宅で生活ができるよう色々な職種が関わり、支援をしていく体制がありました。地域での患者さんとの関わりがとても深く、最後まで患者さんに関われる地域医療のすばらしさを感じることができたのが今回の研修の一番の収穫だと思っています。

また、大学病院では自分で行う機会がなかった血液検査の分野や、画像検査、リハビリ、栄養など診療所などでは自分である程度こなさなければならないことを知ることができました。実際に技師さんに指導をうけることができ、色々な場面で対応できるよう日々学んでいかなければならないと再度気を引き締めることができ、良い経験となりました。